

# 遠野風土記

22



東禅寺跡に残る無尽堂  
市指定記念物（史跡）  
所在地 附馬牛町東禅寺字大寺

## 東禅寺跡

とうぜん じ あと

附馬牛町東禅寺の東禅寺川上流に東禅寺というお寺がありました。このお寺は、一六〇〇（慶長五）年ころの動乱の際に兵火によって焼失したと伝えられています。東禅寺は、一三三四〜四五五年ころに密教のお寺として建てられたという説と、臨済宗の和尚、無尽妙什和尚によって建てられたという二つの説があります。

無尽和尚は、元に渡り金山寺で修行を積んだ後、日本に戻り開祖真空妙応禪師に学び、東禅寺を建てたとされています。「和漢禅刹次第」などの記録では、無尽和尚を慕い、全国から二百余りの僧侶が東禅寺で修行していたとされ、全盛時は東北一の大寺院であったとされています。

東禅寺跡には、無尽和尚をまつる無尽堂があります。無尽堂は明治以降に建てられたものとされ、東禅寺跡をしるす大切なお堂となっています。辺りは、総門や三門、仏殿などのお寺に備えられる主な建物の跡が残されており、当時の隆盛がうかがえる貴重な史跡といえます。

ホット  
ひといき



先月号のこのコーナーの中で、小友中ソフトボール部が今年度で廃部であるとお知らせしましたが、「部員数の減少で廃部の恐れにある」というのが正しい内容でした。小友中をはじめ関係者の皆さまには大変失礼しました◆改めて取材の難しさを知りました。これからも、ご意見、ご感想をお寄せください。（小森）

例年になく雪が少なかった今年の冬。冷夏を心配していましたが、暑い夏がきました◆今月号の編集も苦心の末、なんとか無事終了◆二期期の始業式前日には、いつも泣きながら残りの宿題をこなしていた、かつての夏を思い出しました。（馬場）